

大通地区

新しいふるさとづくりに力合わせ



みんなで、この1年の健康や安全を祈願した「さいの神」

大通地区では、地区民総ぐるみで楽しい行事を企画して、地域おこしを行っています。
「行政区が大通一丁目は根岸地区、二丁目は鷲巻地区に分かれていて、地区運動会などの行事にはいっしょに参加することができません。大通まつり、さいの神の合同行事を通して、地区民の親ほくを図り、あわせて子供たちにふるさとの思い出を残してやりたい」と、大通小学校PTA会長の大矢定二さんは話しています。

お盆に行われる「大通まつり」では、子供みこし、民謡流し、カラオケ大会などを開いて、大人も子供もみんないっしょになって楽しめます。毎年、一月十五日に行われる「さいの神」では、燃えさかる炎を囲み、スルメを焼いたり、甘酒を飲んだり、暖かい冬の一日を過ごします。
大矢さんは「いつまでも継続して、大通地区の伝統になれば」と話してくれました。



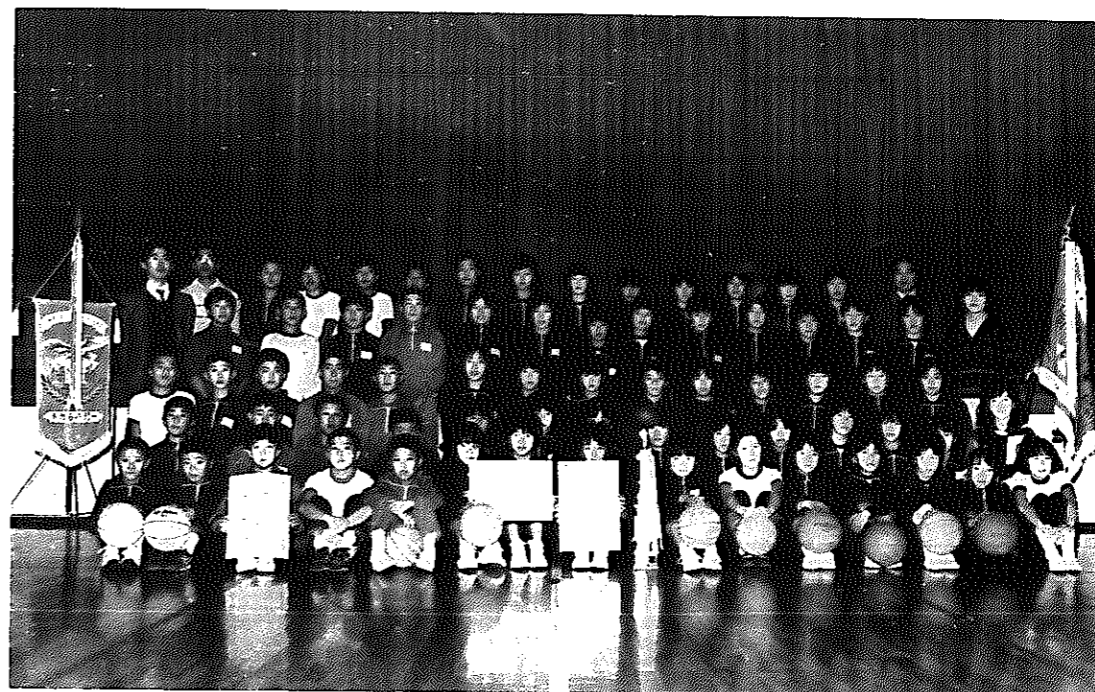
高木 新くん
(大通一丁目・大通小4年)

一年生のときから、ずっと出ています。さいの神で燃やす「しめ縄」「もち」など、よその家へもらいにくのが初めは恥ずかしかったけど、今は楽しいです。僕も大人になったらみんなのために、大通まつり、さいの神に一生懸命がんばりたいと思います。

大人になったらみんなのために



まちかど



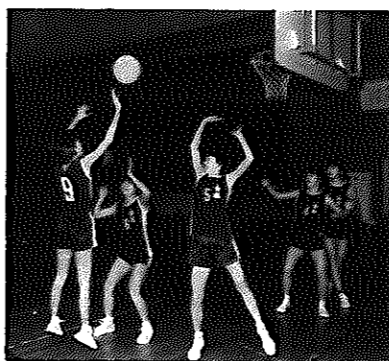
三市中東蒲大会では、男子チームも3位に入賞。小学校生活のよい思い出が、また一つ増えた

ん
にちば

三市中東蒲大会で優勝し県ベスト8
白根小ミニバスケットボール部

一月六日、新潟市体育館で行われた「第七回新潟県ミニバスケットボール大会」に白根小学校女子ミニバスケットボール部・白根ブラックエンジェルスが出場しました。ミニバスケットボールは、バスケットボールのゴールの高さ、コート幅の広さ、ゲームルールなどを、小学生の体力に合わせて改正したスポーツです。

同校の六年生女子ミニバスケットボール部には、四十四人の児童が入部しています。指導に当たる斉藤先生と渡辺先生のもとで、厳しい練習を繰り返してきました。「県大会出場を目標にしていたので、相当な練習量でした。毎日の練習の終わりに、スピー



ド、体力の違う男子チームとのゲーム。そして、土曜日や日曜日には他校との練習試合。子供たちはほんとうにがんばってくれました」と渡辺先生。
十一月の市内大会では他校を寄せつけず、群を抜き優勝。十二月、新潟市で行われた三市中東蒲大会では、準決勝、決勝とも後半戦で逆転する粘り強い試合を展開し、みごとに優勝しました。キャプテンの渡辺香織さんは「三市中東蒲大会での優勝が、いちばん印象に残っています。試合終了の笛が鳴ったとき、みんなと泣いて喜びました」と大会を振り返って話してくれました。

県大会では、新潟地区代表の桃山小学校に善戦及ばず敗れ、ベスト8に終わりました。
「技術、選手の質では劣りませんが、新潟市の選手層の厚さに敗れました。やはり伝統の差が出たようです。しかし、子供たちはいくつもの試合を経験して、精神的にも成長してくれました」と、心身ともに大きく育った子供たちに、斉藤先生は満足の様子でした。



遊びの天才

秋から冬になると天気の良い日が続き、子供たちの大切な外の遊び場が奪われてしまう。

こんなとき、ゲーム機を丸めて野球のボールくらいの大きさにし、それを付けてサッカー遊びをやっている。狭い体育館では、ボールを使う遊びは危険なので禁止されているから、窮余の一策として、こんなことを考えたのである。

また、昨年の秋の遠足で護摩堂山へ行ったとき、山道を登ったり、降りたりしながら、土だらけになって夢中で遊んでいた子供たちのことが思い出される。今は物が豊かで、遊びの道具



写真と文とは関係ありません

たとえば「ファミコン」「ラジコン」「機械仕掛けの人形」などの高価な物からボール類に至るまで、金を出せばなんでも手に入り、遊ぶことができる。だから、私たちが子供のころにやっていた素手で遊ぶとか、有り合わせの物を使って遊ぶというようなことは、今の子供には難しいとよく言われている。

しかし、本来、子供は創造性豊かで、柔軟な思考に富むものである。このサッカーや山遊びの例のように、その状況や環境に立たされると、工夫しながらけっこう楽しくやり通すことができるのである。

このような可能性を信じながら、子供が奥に秘めている豊かな創造性を引き出し、伸ばしていくように、学校、家庭、地域が手を取り合って、努力してきたいものである。
(庄瀬小学校にお願いしました)